

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位:百万円)

団体名 備前市

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
6,429	4,447	477	11,353

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	16,971	15,761	1,210	411	179	18,250	
備前市土地取得事業特別会計	57	55	1	1	50	-	
備前市飲料水供給事業特別会計	10	8	2	2	-	4	
備前市駐車場事業特別会計	27	17	10	10	-	-	
備前市墓園事業特別会計	8	7	1	1	4	27	
一般会計等	17,051	15,827	1,224	425		18,281	

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額／不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
備前市水道事業会計	871	783	88	1,545	9	1,197	85	
備前市国民健康保険病院事業会計	4,381	4,565	△ 185	3,213	247	4,559	2,038	
備前市簡易水道事業会計	(歳入) 27	(歳出) 26	(形式収支) 1	(実質収支) 1	22	216	198	
備前市郷土料理館事業会計	(歳入) 44	(歳出) 31	(形式収支) 14	(実質収支) 14	-	-	-	
備前市宅地造成分譲事業会計	(歳入) 39	(歳出) 34	(形式収支) 5	(実質収支) 182	-	-	-	
備前市下水道事業会計	(歳入) 5,850	(歳出) 5,810	(形式収支) 40	(実質収支) 31	1,578	24,978	20,732	
備前市農業集落排水事業会計	(歳入) 66	(歳出) 57	(形式収支) 10	(実質収支) 10	20	420	234	
備前市漁業集落排水事業会計	(歳入) 35	(歳出) 31	(形式収支) 4	(実質収支) 4	20	6	4	
備前市浄化槽整備事業会計	(歳入) 24	(歳出) 22	(形式収支) 2	(実質収支) 2	19	209	191	
備前市国民健康保険事業会計	(歳入) 4,659	(歳出) 4,435	(形式収支) 224	(実質収支) 224	223	116	6	
備前市老人保健医療事業会計	(歳入) 550	(歳出) 524	(形式収支) 27	(実質収支) 27	36	-	-	
備前市介護保険事業特別会計	(歳入) 3,235	(歳出) 2,995	(形式収支) 241	(実質収支) 241	478	-	-	
備前市後期高齢者医療事業特別会計	(歳入) 429	(歳出) 424	(形式収支) 6	(実質収支) 6	97	-	-	
公営企業会計等 計				5,500		31,701	23,488	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
3. 「資金剰余額／不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額／不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
岡山県広域水道企業団	(総収益) 4,428	(総費用) 6,109	(純損益) △ 1,681	(資金剰余金額) 2,882	—	50,071	—	法適用
東備農業共済事務組合	(総収益) 116	(総費用) 111	(純損益) 5	(資金剰余金額) 191	—	—	—	法適用
岡山県市町村税整理組合	65	63	2	2	4	—	—	
岡山県市町村総合事務組合(一般会計)	11,015	10,212	803	803	1,938	—	—	
岡山県市町村総合事務組合(貸付金特別会計)	1,226	785	442	442	—	—	—	
岡山県市町村総合事務組合(脱退還付金特別会計)	62	59	3	3	61	—	—	
岡山県市町村総合事務組合(交通災害共済特別会計)	8	4	4	4	—	—	—	
岡山県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	187	184	3	3	—	—	—	
岡山県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	186,528	186,448	80	80	—	—	—	
東備消防組合	1,140	1,111	29	29	—	1,191	810	
旭東用排水組合	33	29	4	4	—	—	—	
和気老人ホーム組合	172	153	19	19	—	262	77	
和気北部衛生施設組合(一般会計)	484	439	45	45	—	75	20	
和気北部衛生施設組合(鞆飼谷温泉特別会計)	435	434	2	2	25	—	—	
和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合	486	459	28	28	—	1,252	63	
和気・赤磐共同コンポスト事務組合	328	270	58	58	—	789	—	
備前広域環境施設組合	7	4	3	3	—	—	—	
一部事務組合等 計				4,598		53,640	970	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
財団法人備前市施設管理公社	5	68	50	—	—	—	—	—	
片上埠頭開発株式会社	2	135	10	—	—	—	—	—	
備前市土地開発公社	2	33	10	—	—	156	—	129	
岡山セラミックス技術振興財団	11	462	235	5	—	—	—	—	
日生有線テレビ株式会社	△ 4	36	68	—	6	—	—	—	
財団法人吉永町振興公社	0	50	50	—	—	—	—	—	
地方公社・第三セクター等 計			423	5	6	156	0	129	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)			
充当可能基金名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
財 政 調 整 基 金	1,484	1,690	206
減 債 基 金	227	328	101
その他充当可能基金	639	1,273	634
充 当 可 能 基 金 計	2,350	3,291	941

(注)「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
実 質 赤 字 比 率	3.46	3.74	0.28	△ 13.13	△ 20.00	水 道 事 業 会 計	-	-	-
連結実質赤字比率	48.79	52.16	3.37	△ 18.13	△ 40.00	国 民 健 康 保 険 病 院 事 業 会 計	-	-	-
実 質 公 債 費 比 率	21.4	20.8	△ 0.6	25.0	35.0	備 前 市 簡 易 水 道 事 業 会 計	-	-	-
将 来 負 担 比 率	164.7	147.4	△ 17.3	350.0		備 前 市 郷 土 料 理 館 事 業 会 計	-	-	-
財 政 力 指 数	0.56	0.58	0.02			備 前 市 宅 地 造 成 分 譲 事 業 会 計	-	-	-
経 常 収 支 比 率	94.9	96.9	2.0			備 前 市 下 水 道 事 業 会 計	-	-	-
						備 前 市 農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	-	-	-
						備 前 市 漁 業 集 落 排 水 事 業 会 計	-	-	-
						備 前 市 浄 化 槽 設 置 事 業 会 計	-	-	-

- (注) 1. 「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」・「資金不足比率」は負数(△～)で表示している。
2. 「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。
4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。